



小学校(中学年)における実践②(9月)

「あいさつ名人になろう」(ソーシャルスキルトレーニング)

○ 本時のねらい

- ・ ソーシャルスキルトレーニングの学習の進め方に慣れさせる。
- ・ あいさつのポイントを理解させる。

○ 展開(45分)

| 学 習 活 動   | 教師の働き掛け  | 準備物                                     |
|---|--|---|
| <p>1 人とのかかわり方の学習をすることやその時の約束を知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひやかさない。</li> <li>・ はずかしがらない。</li> <li>・ よいところを見つける。</li> </ul> </div> <p>2 本時のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">                 上手なあいさつの練習をしよう。             </div>  <p>2 モデリングを見て、あいさつのポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 相手を見ずに、無表情でぼそぼそとあいさつをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 150px;">                 T2:おはよう<br/>ございます。             </div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 100px;">                 T1:…。             </div> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年生まで同じ学級で楽しい学校生活を送るために、友達とのかかわり方を練習して、実際に行動できるための学習をすることを伝える。</li> <li>・ 実際に行動できるようにするためには、約束を守って練習することが大切であることを伝える。</li> <li>・ あいさつが良好な人間関係の第一歩であることに気付くように、その日あいさつをした場面やあいさつをした後の気持ちを確認する。</li> <li>・ TTでモデリングをする前にポイントを示すT1の行動を見ておくように伝える。</li> </ul> | <p>表情カード</p> <p>約束カード</p> <p>めあてカード</p> |

II ポイントを使ってあいさつをする。

【あいさつのポイント】

- ・相手を見る
- ・笑顔で
- ・聞こえる声で

3 あいさつのポイントに気を付けながら練習する。

(1) 練習①をする。

おはようございます。

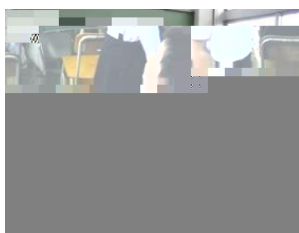
おはようござい  
ます。



相手を見て、笑顔で  
言っていました。

(2) 練習①を振り返り、話し合う。

(3) 練習②を行う。



(4) 練習②を振り返る。

(5) 練習③をする。

・ II のモデリングがよかったことを確認して、あいさつのポイントを見習いから引き出す。

・ 4人組を作り、「あいさつをする役」「あいさつをされる役」「見守る役」に分かれて、交替で練習することを説明する。

・ 「見守る役」に顔マークの使い方や、よかったところを「あいさつをする役」に伝えることを確認する。

・ 振り返りシートには、自己評価で振り返るように伝える。

・ あいさつのポイントを全体で共有、確認できるように、ポイントが達成できていた児童をモデルとして紹介する。

・ 2回目の練習に向けて頑張りたいポイントを記入するよう伝える。

・ 先生には、おじぎをあいさつのポイントに加えることを確認する。

・ T1、T2からよくできていたことを伝える。

・ 友達とはハイタッチすることをあいさつのポイントに加えて練習する

ポイントの短冊

役割カード

2種類の顔マーク

振り返りシート

|              |  |  |
|--------------|--|--|
| 4 学習のまとめをする。 | ことを伝える。<br>・場所や相手によってポイントを変えて学校生活の多くの場面で活用することを促す。 |  |
|--------------|--|--|

《参考URL》

- 平成 22・23 年度佐賀県教育センタープロジェクト研究 小・中・高等学校教育相談研究委員会  
[http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu\\_chousa/h23/06%20kyouiku-soudan/index.html](http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h23/06%20kyouiku-soudan/index.html)

○ 振り返りシートより

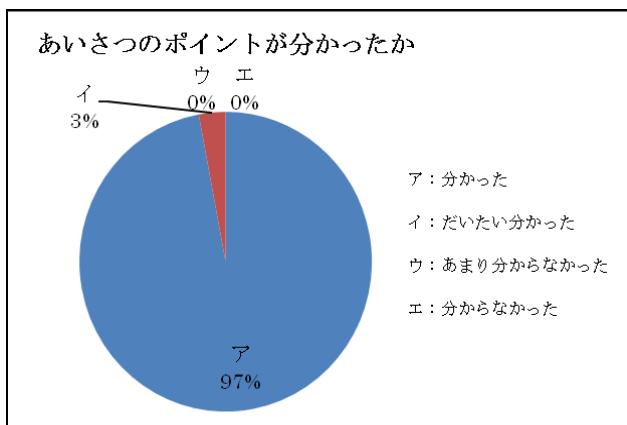


図1 授業後のアンケート結果

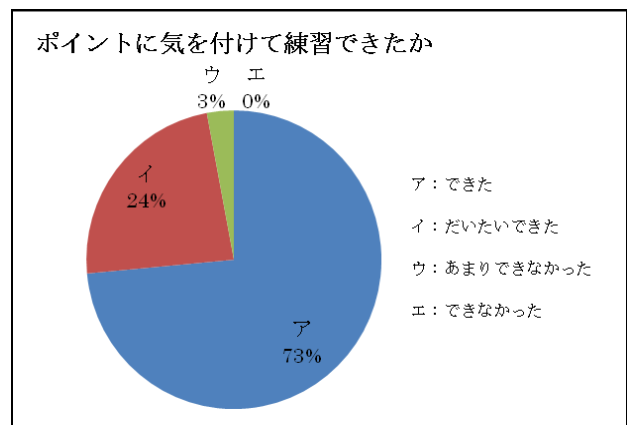


図2 授業後のアンケート結果

【集団について】

- この学習をしてあいさつってこんなに楽しくなると気付くことができたのでよかった。これからは3つのポイントを守ってやりたい。
- 上手なあいさつの仕方が分かってよかったです。あいさつをすると気持ちよくなりました。
- 自分がいい気持ちになれた。元気がわいてくる。楽しかった。スッキリした。
- 「タッチは毎日してもいいよ」と言われて、嬉しかった。
- ハイタッチをしたら楽しくなるんだなあと思った。
- あいさつをするとみんながいい気持ちになるとよく分かった。
- 明日からあいさつが楽しくなりそう。
- 普段よりも緊張がほぐれて、満足できるあいさつができた。
- あいさつってこんなにいいものだと分かりました。これからみんなにポイントを守りながらあいさつしたい。

【個人について】

- A：あいさつが楽しかった。
- B：笑顔、聞こえる声ではっきり、相手の目を見ることが分かってよかった。
- C：あいさつのポイントが分かってよかったです。あいさつをすると仲良くなれるし、元気にもなれるからとてもいいことだと思う。
- D：これから友達とかおじいちゃん、おばあちゃんにもあいさつをしたいと思う。

○ 実践を振り返って

【集団について】

- ・ ソーシャルスキルトレーニングの学習の進め方や約束について理解して、ほとんどの児童が熱心に練習していた。
- ・ 振り返りシートから、ほとんどの児童が楽しく練習して、あいさつをすると気持ちよくなれることやあいさつのよさに気付くことができた。
- ・ おじぎやハイタッチと相手や状況に応じたあいさつのポイントを児童が気付くことができ、その意見を基に練習②、練習③の場面でアレンジして使うことができた。
- ・ 実施後のアンケートからは、笑顔であいさつをするというポイントを意識するようになったことが分かる(図3)。

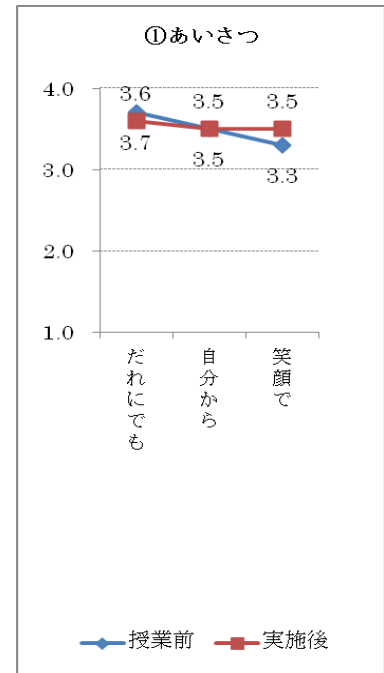


図3 集団のスキルの獲得状況

【個人について】

- A：普段のあいさつも少しぎこちない所があるが、本時も少し戸惑っていた様子で練習をしていた。  
 B、C：普段から元気にあいさつをすることが多く、授業中も積極的に発表や練習をしていた。  
 D：図4からスキルが向上したことが分かる。普段は、うつむきながら小さな声であいさつしているが、本時では恥ずかしそうにしながらも練習に参加し、友達に笑顔を見せる場面があった。

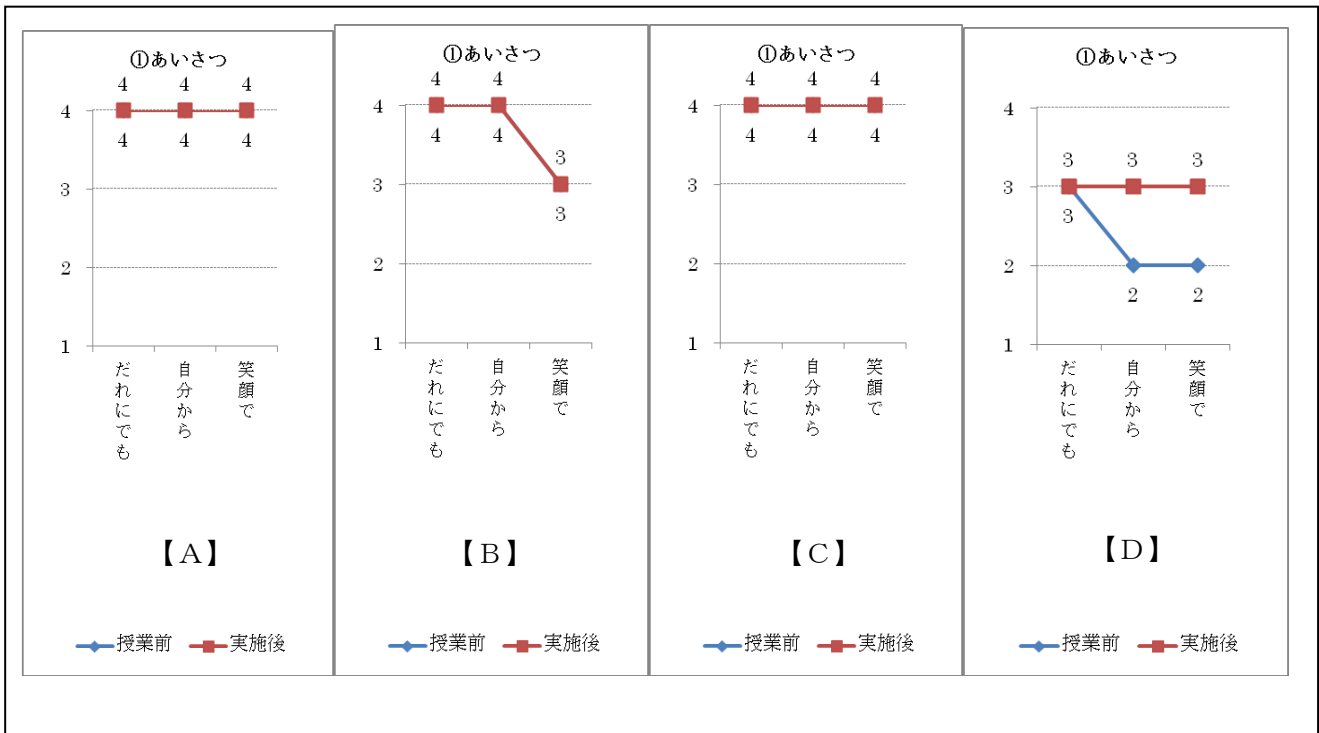


図4 個人のスキルの獲得状況